

令和2年度 学校評価報告書

丹波篠山市立城南小学校

校長 中野 龍文

1 学校教育目標等

『夢や希望をもち、個が輝く楽しい学校づくり』
～世界に通じる国際人の育成～

2 今年度の重点目標

「活動・規範意識を高めよう」⇔ 学校生活で褒める・認める機会を増やしやる気を育てる。
「地域とともにある学校づくり」⇔ ふるさとに学び続ける自分づくり
「チャレンジ精神を高めよう」⇔ こころ豊かな自分づくり
「生きる意欲」を培う学校生活の充実⇔ たくましい自分づくり

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
学習指導 の充実	◇学び合い活動を取り入れた授業の確立と推進	A	・コロナ禍での感染防止対策を進めながら、有効性のあるグループやペアの学び合いに向け校内研修での視点を決め、研究を深めた。 ・めあてから見通しを児童にもたせる重要性を再確認し、授業改善の柱に研究を進める。
	◇基礎学力の着実な定着	B	・コロナ休業で学習動画作成や朝スキルに「読解力ワーク」を取り入れる取組を進めた。 ・読解力を確かな活用の力に高め、意欲につなげる授業と確かめの場を考える。
	◇キャリア教育の推進	B	・キャリアノート作成・記入・活用は各学年に定着した。 ・指導者が常に児童のキャリア育成の視点を持つため、学期ごとのふり返し交流をもつ。
生徒指導 の充実	◇学習規律・基本的な生活習慣の定着	B	・教師だけでなく児童会の自主・自律的な取組で安全・安心な学校生活を進めた。 ・マナーメールに変更し、保護者への啓発や協力を獲得しやすくし、校外の生活改善を図る。
	◇組織的な取組の充実	A	・迅速ないじめ認知と組織対応でいじめ解消100%を達成した。また、不登校傾向や特別な支援を必要とする児童への校内ケース会議からの対応など、組織で分析・対策する形ができた。
保護者・地域との連携	◇地域とともにある学校づくり	B	・「城南っ子応援団」のふるさと学習は定着した。 ・キャリアノートの活用・充実を図った。指導者の意識向上に向け、次年度は活用の交流研修を行う。
	◇安全・安心な学校づくりの推進	B	・いじめや事故の防止等、自治的な児童会の取組を進めたが、次年度は児童の安全意識や危険予測の指導にさらに取り組む。
学校経営	◇業務改善	A	・運動会や学習発表会、学年の取組等の目的やねらいを明確にし、コロナ禍での行事計画に共通理解を図って取組を進めた。 ・業務改善に関わる取組を委員会で検討し進めることにより、退勤時間が早くなった。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・コロナ禍の中でご苦労も大変だったと思いますがピンチをチャンスにかえて今までにない学びの場も多かったと思います。先生方の知恵とやる気で子ども達を大きく伸ばしていただき感謝です。重点目標の継続した取り組みで一層充実したものになっていくよう願っています。
- ・どの項目についても、力を入れて取り組まれた様子が伝わってきます。「継続は力なり」です。一層の充実と今後に期待します。
- ・学習指導、生徒指導はよくできていると思います。
- ・規範意識を高めようという目標は、上級生の朝の登校の様子を見ている限りでは、できていないように思います。
- ・児童及び保護者間によるアンケートでは、多少評価に隔たりを感じるが互いに満足感があり目標達成された。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・子ども達は、充実した学校生活が送れているように思います。先生方が協力し子ども達のためにと全力投球していただいているからこそだと思います。今後も一人一人の個を大切にし、良さを伸ばす教育を願っています。
- ・子ども達の様子を感じられる環境にすることで、子どもの声も、地域の声も聞こえてくるのではないのでしょうか。家庭と学校と地域の連携の中、城南っ子がまっすぐ育ってくれればと願う
- ・コロナによる感染発生時期において時間的制約がある中、大変ご苦労があったと思います。突然時において状況説明また計画変更があれば、保護者に対して具体的な説明があればより安心感があったと思われる。
- ・やっぱり、保護者・地域の協力が少なくなかったと思う。
- ・こころ豊かで思いやりのある行動が育っていないように思う。学校で教えてもらっていることが日々の生活につながっていない。「自分だけが良かったら良い」子が増えているように思う。学校の評価だけを意識している高学年が多いのが残念。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分 野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学習指導の 充実	・しっかりと取組を重ねてもらっているように思います。 ・低学年の基礎基本となる学習の徹底が、次学年への学習理解に大いにつながっていくものなので、細やかな関わり指導で学力の定着が図れるよう願っています。 ・高学年は、自主学習に意欲的に取り組んでいる。 ・読書はなかなか家でしないので本を読む機会を増やす方法があればと思います。
生徒指導の 充実	・あいさつは地域全体で取り組むことが大事なことです。高学年の率先したあいさつは、低学年のお手本になるので、是非実行してほしいものです。 ・学校ではあいさつができていますが、地域ではできていない。自分が評価されるところは良い態度で過ごしているが、日常的にできていないのが残念。 ・見守りなど、保護者・地域が子どもとふれあう機会を増やすことで顔見知りになってあいさつも増えてくると思う。そんな取組を計画していきたい。 ・スマホやネットのルールは、もっと家庭や地域に周知していきたい。大人より子どもの方がよく使っているが、大人の力が必要なこともある。
保護者・ 地域との 連携	・学校だよりを配布していただき、学校の様子がよくわかり、一層学校への関心が深まり、いつも楽しみにしています。さらに、学校のホームページに授業動画や行事の記録が掲載され、コロナ禍での保護者への配慮が良かったです。 ・PTAとして、もっと地域・小学校の連携ができるようにして行けたらと思った。通学路の変更にともない通学時や放課後など、協力を増していければと思う。 ・小学校のさつまいも、黒大豆等々で自然に学ぶ姿をほほえましく思います。 ・「時間を守ったり、ルールを守ったり」この項目は、子ども達と保護者の意識の差が大きいですがどのように捉えればいいのでしょうか。